

用通貨ヘノ轉換ヲ圖ル必要ガアル。

(口) 儲備銀行ノ強化　國有不動産、敵產其ノ他ヲ以テ物的發行準備ヲ充實スルト共ニ人的陣容ヲ強化スル必要ガアル。

(内) 金融機關ノ整頓改善　弱小不良金融機關ヲ整理シ堅實ナ中小金融機關ヲ充實スペキデアル。

(二) 上海遊資ノ誘導　上海遊資ノ對象物ヲ提供スル爲ニ證券取引所、金銀取引所ノ如キヲ利用スルコトモ考ヘラレル。

(内) 通貨ノ回収　租稅ノ新設又ハ重課、長期的預金ノ獎勵、富義ノ發行、各種保險ノ新設等ノ方法ガアル。

物價騰貴ノ支那政治經濟ニ及セル影響

委員 橋本 騰一

支那物價騰貴ノ特徴

(一) 近代的ナラザル農業ヲ主トシ中小經營ノ工業多ク又全國的經濟ノ未發達ナ支那經濟ノ特質カラ全國的ナ物價騰貴ノ速度ハ緩慢デ爆發的ナ暴騰狀態ヲ出現シナイテアラウ。スルトシテモ都市毎ニ而モ時チ異ニスル間歇的ナモノニ遇ギナイ。

(二) 都市民衆ノ通貨不信感ガ強調サレル反面國民ノ大部分ヲ占メル農民ガ通貨價值ニ無關心ナ事情カラ潛在インフレ期ト惡性インフレ開拓ノ限界ガ不明瞭デアル。

(三) 第三國貿易經路ノ遮断・共榮團交易・統制、爲替比率ノ公定等ニ凡リ物價ト爲替相場ハ並購シ物價ノ暴騰ニモ拘ラズ爲替公定相場ハ不安定シテ居ル。

(四) 近代的交通網ノ未完成、現代的金融機關ノ未發達、對敵封鎖ノ實施、各地通過稅ノ徵收等ニ因リ各地區商ノ物價差ガ大デアル。

(国品種別ニ觀テ駿行的デアリ工業品疎中貿易品ガ食料、燃料、雜品等ニ比シテ顯著ナ勝勢ヲ示シテ居ル。

二、

支那物價政策ノ特異性

近代國家ニ於ケル物價政策ノ崩壊面ガ支那デハ原則トナツテ居ル。之へ當局ノ施策ニ歸セラレルベナ部分モアルガ、主トシテ支那經濟ノ特異性ト事變以來ノ特殊環境トガ交錯シタ結果デアル。支那

物價政策ノ特異ナ現象ハ次ノ如クデアル。

(一) 公定價格及停止價格ガ部分的且名目的デアルコト 之ハ物價統制ノ主眼ガ物品ニ貰カレテキルコト、適正ナ原價計算ノ不可能ナコト等ニ基因スル。

(二) 地方割據的色彩ノ漫厚ナルコト 之ハ政治的及軍事的原因ニモ因ルガ寧ロ支那經濟ノ地方割據的ナ特質ヲ反映スルモノニ外ナラナイ。

(三) 價格ノ統制ヨリモ物資ノ確保ニ第一トサレテ居ルコト 從テ物價統制ノ中心チナス價格ヤ通貨價值ヘ犠牲トサレル傾向ガ強イ。國權ヤ投機ノ統制ガ絶對ニ必至ナルコト 支那デハ日本ガ生産

ト遊離シ大部分流通部面ニ集中サレテ居ルカラ大衆ニ對スル問題
タタル統制ヲ行フヨリモ優位ヲ占メル商業資本ノ專横ヲ抑壓ス
ル必要ガアル。

三物價騰貴ノ經濟的及政治的影響
物價騰貴ノ經濟的政治的影響ハ支那デハ其ノ經濟社會ノ特異ナ
造カラ歐洲諸國ト異ル點モアルガ、インフレ問題ニ對スル現在ノ
關心ハ民生ヨリモ再生産條件ヲ悪化ニ賣カルベキデアル。

(一) 農業生產ニ對スル影響

(1) 支那農民ハ主トシテ自給自足ノ經濟チ營ミ農村ト都市トノ物
資交流ハ主ニ租稅、地代又ハ日用品ニ限ラレ農業ノ生產過程
ニハ及ンデ居ナイカラインフレ進展ノ農業生產ニ對スル影響

ハ勘イ。

(2) 生產物ノ價格騰貴ニ因テ固定收入無ク貨幣購買力少ク自給可
能ナ農民ノ地位ガ好轉シ增產ガ刺戟サレルトサヘ考ヘラレル。
併シ小作農ガ騰貴ノ利益ニ均露出來ヌコト、勞賃ノ騰貴ニ因
ツテ轉業者ガ生ズルコト、當屬ノ統制ガ漸効果ヲ生ミ易イコ

ト等此ノ關係ヲ制約スル條件モ多イ。

(二)

工業生產ニ對スル影響
(1) 工業生產ハ昭和十五年以前ニへ上昇シタガ其ノ後停滞狀態ニ在ル。

(2) 工業テハ生產手段ノ調達ガ重要性ヲ有シ其ノ生產ト物價ノ影響ノミカラ論ズルコトハ出來ナイガ、初期ノ上昇ハ賃價ト勞賃ガ工產品價格ヨリ遅レテ隕貴シタコトニ因ルモノト見ラレル。後期ノ停滞ハ生產手段補修ノ困難モ原因デアルガ初期ノ如キ價格上ノ好條件消滅等物價ノ影響モアル。

(3) 特ニ當局直接ノ管理企業以外ノ企業ニ在テハ資本ヤ設備ノ利益ノ多い流通部門ニ流入又ハ轉用サレ辟デアル爲生產擴充ガ困難トナル。

(4) 又一般的ニモ原料資材ノ偏在ヤ流動資本ノ不足等ガ發生スル他生活不安、社會不安、食糧其ノ他日用品ノ入手難等ニ因ツテ等飼者ノ能率低下、不正行爲ノ横行、農村ヘノ逃避等ノ現象モ生ズル爲、一般的の生產力ノ低下モ免レ難イ。

(本) 唯支那ノ工業ニハ此ノ如キ影響ヲ受ケルコトノ歎イ農村家内工業ヤ地方的雜工業ガ相當大キナ地位ヲ占メテ居ルコトヲ注意セネバナラズ。

(三) 流通經濟ニ對スル影響

- (イ) 物價騰貴ニ因テ流通部門ハ膨張スル。新經營が濫設サレル他工場ノ原料轉賣、消費者ノ囤積ヤ轉賣ガ盛ントナル。
- (ロ) 支那デハ私生活ト商生活ガ截然區別サレテ居ラズ又通貨價值ノ變動ニ銳敏デアル爲、物價騰貴ニ因テ被害ヲ蒙ル民衆ノ範圍ハ限定サレテ居ル。
- (ハ) 併シ矢張リ富ヤ所得ノ偏在ハ廻避出來ナイ。殊ニ支那デハ中世的ナ商業資本ヤ畸形的ニ發達シタ金融資本ガ有力デアル爲大規模ナ開拓ヤ投機ニ依テ民衆ハ困憊ニ陥テ居ル。
- (二) 此ノ如キ事情ハ流通經濟ノ繁榮ヲ意味スルガ。結局ハ生産力ヲ阻害シ將來經濟ノ沈滯ヤ恐慌ノ原因トナラウ。
- (四) 民生ニ及ボス影響
- (イ) 各都市ノ生計費ノ騰貴ハ甚ダシイガ現物拂ヤ給與ノ引上ガ普

- (一) 支那テハ固定收入階級ガ少ク又民衆ノ資産モ不動産ヤ動産ガ大部分デ預貯金ヤ有價證券ハ皆デアルカラ物價騰貴ノ民生ニ及ボス影響ハ比較的深刻デナイ。
- (二) 併シ農民ノ勘ナカラヌ部分チナス小作農ハ物納デアル爲物價騰貴ニ依テ利スル處少ク、大衆ハ商業資本ノ投機ノ爲ニ困惑シテ居ル。
- (三) 従テ商業資本ノ統制ト小農層ノ利益増進トガ必要デアル。

支那人ノ貨幣觀

委員 小島昌太郎

一、貨幣觀ノ特殊面ト共通面

支那人ノ貨幣觀モ其ノ根本ニ於テハ他民族ノ夫ト異ナルモノデハナイ。其ノ特異ナ生活環境カラ產ミ出サレタ特殊面ヲ強調スルノ餘リ貨幣ニ關スル共通思想ヲ看却スルコトハ誤デアル。

二、貨幣ニ關スル觀念

(一) 支那人ガ貨幣ニ對シテ有スル觀念ヘ理念的ト言フヨリモ寧ロ感覺的デアル。貨幣トハ何デアルカガ問題デハナク、貨幣ノ價值ガ如何ニ動クカト云フコトニ付キ感覺的ニ銳敏ナノデアル。之ハ統一ナキ政治組織ト治安ノ確保ナキ社會環境ニ於テ生活ヲ維持スル必要上副數サレタモノデアル。

(二) 支那人ハ貨幣ヲ愛好スル。蓋シ其ノ人口ニ比シ資源ノ開發未熟ニシテ財貨ヲ愛惜スルノ意切ナルモノガアリ、蓋イテハ財貨ヲ賣の儘ニ獲得セシムル貨幣ヲモ尊重スル。之ハ又同國ニ在テハ貨幣ヲ以テ購買シ得ルモノノ範圍ガ極メテ廣イコトハ子民ノ購買

(2) 犯罪ノ隠資等）トモ表裏ノ關係ニアル。

(3) 貨材價値ヲ有スル金屬貨幣ト之ヲ有セザル紙幣トテ明確ニ區別シテキル。

(4) 金属貨幣銀貨ヤ銅錢ノ實價ハ時ニ若干變動スルモ結局相當ノ價値ヲ維持スルカラ彼等ハ之ヲ營ニ交換ノ媒介物トシテノミナラズ價値ノ保護卽チ財產トシテ尊重スル。

(5) 紙幣及預金紙幣ハ一度其ノ價値ニ變動ヲ生ズレバ底止スル所ヲ知ラザルガ故ニ之ヲ財產トハ認メズ單ナル交換ノ手段トシテ過早ク財貨ノ獲得ニ努メル。之ハ銀行券テ拂良サル銀行預金ニ在ツテモ同様デアル。預金スルヨリモ銀ヲ保護スルコトガ一般ノ慣習デアリ、預金スルナラバ安定性アル外國銀行ニスル。

貨幣制度ニ關スル思想

(1) 貨幣制度ノ問題　輕量貨幣タル馬路銀ヤ銀貨銅錢ヲ尊重シタ事實等カラ支那人ニハ貨幣制度ノ基盤ニ金屬ヲ要ストスル貨幣觀アリト言ハレルガ、之ハ治亂當ナク政府ニ貨幣發行者トシテノ

四

信用ノ體ハラザル爲、民衆ガ自衛上貨幣ノ素材價値ニ依頼セザルヲ得ヌ環境カラノ歸結テアツテ、其ノ然ラザルコトハ昭和十年ノ貨制改革ニ致シテモ明カデアル。

(二) 造幣権ノ歸屬 造幣技術、完義及比價ノ問題等ニ就テモ元進國ニ於ケル思想ト大同小異テ支那特有ノモノハ見ラレナイ。

四 貨幣現象ニ關スル思想

(一) 貨幣價值ノ根據 貨幣價值ノ趨勢及之ガ調節等ニ關シテモ支那人ニ特有ナ思想ヲ見出スコトハ困難テアル。唯鑄貨ニ就ナハ其ノ數量ノ増加ヲ圖ルベキ万策ヲ考ヘ、紙幣ニ就テハ其ノ數量ノ減少乃至回収ノ万策ヲ考ヘル。

(二) グレシヤムノ法則

(1) 鑄貨 支那デハ貨幣發行者ニ信用少キ爲通貨ノ價値ハ直ニ其ノ素材價値ニ還元サレルカラグレシヤム法則ノ發現餘地ハ殆ドナイン。

(2) 紙幣 素材價値ヲ持タヌ紙幣ト鑄貨トノ間ニ此ノ法則ノ發現ヲ見ルコトモアルガ、之へ紙幣氾濫ノ場合テツツテ其ノ發行量ガ調節サレテキルトキハ鑄貨ニ打歩テ生ジツツ兩石並ビ流瀉スル。

支那貨幣ノ性格ト銀行券發行ノ問題

委員 山口茂

一、支那貨幣ノ性格

(一) 支那貨幣ノ短期的性格

(1) 支那ニハ國民經濟的ナ統一モ社會ノ安定モナク貨幣ハ常ニ短期的ニ物ニ還元スル。此ノ短期的性格ハ政策上慎重ニ顧ミル必裏ガアル。

(2) 支那デハ社會ノ不安定ノ爲貨幣資本モ短期的ナ經營資本ニ過ギズ長期投資ハ困難デアル。

(二) 財政的通貨ト流通經濟的通貨

(1) 支那ニ於テ流通スル通貨ニハ其ノ發行流通ノ由來カラ見テ財政的通貨(國幣)ト流通經濟的通貨(民幣)トガアル。

(2) 國幣ハ新式硬貨及政府系銀行ノ紙幣ニシテ、政府ノ財政的必要カラ發行サレ主トシテ租稅ノ納何ニ依リ回収セラ。漫貨以外ハ其ノ價值維持乃至數量管理ノ機關ハナイガ、實質上去心シ得成観リ民間ニニ流通スル。

(iv) 民幣ハ舊式硬貨、外國銀行及民間銀行ノ銀行券並ニ私票ニシテ、支那社會ノ同鄉同業緣故關係ニ依ル自衛的機構ニ支ヘラレア流通スル。

(v) 國幣ト民幣トハ上海、天津等ニ於ル外國爲替相場ニ依テ連絡セラレ對外價值ヲ通ジテ一体化シ以テ經濟的通貨タルク性質ヲ得テ居ツタ。

二 法幣制度成立後ノ特質

(i) 一九三五年法幣制度ノ成立ニ依リ此等國幣ト民幣トハ制度的ニ連絡サレタガ、通貨流通ノ實情ガ一變シタノテハナク法幣モ純然タル民幣トシテ流通シタ。

(ii) 法幣制度ハ法幣ヲ基礎トシタ統一アル通貨機構テハナク硬貨、法幣、紙幣、匯票、匯割等ガ次々ニ加ツタモノニ過ギズ有機的全体チナシテキナイ。支那社會乃至經濟ノ個別主義的在リ方ノ現レニ依ルデアラウ。

(iii) 文部事變以後生產ト流通トガ窮屈トナルニ從ヒ民衆生活ノ程度ガ強クナリ法幣ノ民幣化的傾向ガ形式的統一ノ裏底ニ於テ更ニ

頗著トナツタ様デアル。

三、銀行券發行上ノ問題
法幣制度ハ銀行券ノ發行ヲ統制セントスルモノデアルガ、支那ノ如ク國民經濟ノ統一ナキ場合ニハ銀行券ハ自衛的民衆社會ノ貨幣需要ニ應ジテ發行サレ流通スル實狀ニアルカラ通貨政策ヲ統一ノ方向ニノミ向ケルコトハ適當デナイ。

四、圓系通貨ノ問題

- (一) 圓系通貨セ支那民衆ノ間ニ流通スル爲ニハ收買貨幣トシテ發行サレタ財政的通貨ノ性格ガ横ノ關係ニ於テ流通スル流通經濟的通貨ノ性格ヲ併セ持ツ様ニナラネバナラヌ。
- (二) 流通經濟的通貨ハ當然相應ノ流通領域ヲ持タホバナラヌガ、圓系通貨ハ占領地區ノ關係等カラ之ガ限ラレテ居ル。
- (三) 此ノ缺點ヲ圓元バニニ依ル日本ヘノ送金、追送物資等ニ依リ補ツテ來タガ困難トナツタ。
- (四) 圓系通貨ノ固有流通領域ヲ擴張スル政策モ考ヘラレヌコトモナイガ之モ困難デアル。

(iv) 従ツテ圓系通貨ヲ支ヘル爲ニハ法幣經濟領域ヲ自己ノ流通領域

域タラシメタト同様ノ効果ヲ組ヒ以テ法幣流通領域ノ物資ヲ

利用スペキデアル。

此ノ爲ニハ法幣攻撃政策ハ少クトモ一時中止シテ法幣ト圓系
通貨ノ交換ヲ道筋ヲ條件ノ下ニ自由爲替ノ軌道ニ乗スペキデ
アラウ。

(v) 低物價ニ依ル法規的統制ニ依リ圓系通貨ノ流通領域ノ擴大ヲ圖
ラザルヲ得ナカツタ事情ハ圓系通貨ヲ流通經濟的通貨タラシメ
得ナカツタ重大ナ原因デアル。支那デハ低物價ニ依ル法規的統
制ヨリモ支那商賣道ニ則シタ獨占經濟的統制ニ依ル方ガ自然デ
アリ、此ノ方ガ圓系通貨ノ育成、物資收貿ヲ圓滑ナラシメ、ヨ
リ効果的デアラウ。

支那ニ於ケル紙幣發行制度

委員 德永 清行

一 政府紙幣ト銀行券

支那デハ政府ノ紙幣ガ所成リ古クヨリ見ラレタガ何レモ爲替手形乃至支拂手形ノ域ヲ處シナカツタ。所謂銀行券ハ一八九七年以後ニ現レタ。即チ同年中國通商銀行ガ創立セラレ最初ノ銀行券ガ發行サレタ。爾後此ノ輝ノ新式銀行ガ繪々設立セラレ兌換券發行ノ特許ヲ得テ各自ノ銀行券ヲ發行シタ。

(一) 單一發行制ト多數發行制

(二) 中央銀行設立ノ必要

此ノ結果ハ幣制ノ紊亂トナリ事態ヲ收拾整理スル爲中央銀行設立ノ必要ガ痛感サレタ。併シ本來中央統一ノ困難ナ極情ノ下ニ在テハ紙幣ノ發行ニ關シテモ之ヲ單一發行制ニ歸一スルコトハ至難デ精々同一紙幣ノ流通圈ノ擴大ヲ以テ満足セザルヲ得ナカツタ。

(三) 中央銀行發券ノ經過

實質的ナ中央銀行ハ一九二八年十一月一日國內平定ト共ニ上海ニ設立セレタ中央銀行總行テ以テ晴矢トスル。茲ニ始メテ發券及導造ノ特權ガ既與サレ通券ノ集中及國庫ノ經運ニ關スル政府ノ期待ハ甚ニ顯著デアツタ。

(イ) 發券準備ヲ正貨六割、保證四割トシ之ヲ公開シテ信用ヲ鞏固ニシム。

(ロ) 保證準備發行ニ對スル發行稅ヲ免除シ他行ノ發券ニ比シ優越セル地位ヲ取得セシメ。

(ハ) 同行ノ兌換券ヲ各分行ニ於テ一律ニ兌換セシメ其ノ流通圏ノ擴大を圖ツタ。

三、領用制ノ普及ト發券ノ集中

(イ) 領用制ト領用銀行

領用制トハ紙幣ノ代理發行ニ類シ發券銀行(大銀行)ノ兌換券ヲ中小銀行(領用銀行)乃至錢莊チシテ代ツテ發行セシムル制度デアル。領用券ハ領用銀行乃至錢莊テ經由シテ發行サレ其ノ發券權備モ領用銀行カラ提供セレル。

預用制ハ證券銀行ニトツテハ證券準備ノ不要乃至免換責任ノ緩和トナリ、預用銀行乃至錢莊ニトツテハ發行權ノ借用（發行權ナキ場合）又ハ信用厚キ銀行ノ發行權利用（發行權アル場合）トナル利益アリ。

（二）預用制ノ普及

預用制ノ普及ニ依リ證券ノ集中ハ促進サレタ。政府トシテモ之ヲ阻止スベキ理由ナク證券集中ノ手段トシテ此ノ制度ヲ積極的にニ利用シタ如クデアル。

（三）發行準備ト預金準備

（一）發行準備率ノ低減

發行準備ノ現金六割ト言フモ實ハ預金ノ準備ヲ兼ヌルコト少カラズ強チ高率ニ過ギルモノデハナイガ預用制乃至其ノ發展的形態タル公庫制ノ下ニ於テハ此ノ準備率ヲ更ニ低減スルコトモ可能トナツタ。

（四）預金準備ノ集中

一九三四年從來ノ中央銀行ニ對シ新ニ中央準備銀行（一九三七

年中央儲備銀行ト改名)トシテノ性格ヲ賦與シ同行ヲシテ各銀行ノ預金準備ヲ保管セシモノトシタ。

一九四〇年貯蓄預金以外ノ普通預金ハ其ノ總額ノ二割ヲ準備金トシテ當該地ノ中央銀行、中國銀行、交通銀行及中國農民銀行ノ中孰レカニ預入レル要アリトシ茲ニ預金準備ノ集中が實現ノ緒ニ着イタ。

五 重慶政權下ノ金融工作

(1) 新四行聯合辦事處總處

重慶政權ヘ中央銀行制度確立ノ前提トシテ前記政府系四銀行ノ密接ナ聯繫ヲ圖ル爲一九三七年第一次四行聯合辦事處總處ヲ設置シタガ一九三九年之ヲ改組シテ第二次四行聯合辦事處總處ヲ組織シタ。

(1)此ノ改組ハ不急不要ノ支出ヲ可及的ニ節減シ、外債ノ管理ヲ嚴重ニシ遊資ノ吸收ニ努メル等法幣準備金ヲ豐富ナラシメ且金融網ヲ擴大セントシ、

(同) 四行聯合辦事處總處ヲシテ戰時金融政策ニ關聯アル各種ノ業
務ヲ運営セシメ戰時中央銀行ノ機能ヲ果サシメントシタ。

〔口〕 金融ノ中央集権化

第二次四行聯合辦事處總處ハ政府系四銀行ニ依ル第一次組織ニ
比シ益ニ高慶ノ組織デアリ所謂超四行性ヲ有スル。又其ノ機能
ニ於テモ專ニ戰時金融政策ニ止ラズ戰時經濟政策ノ全般ニモ反
ビ所謂金融經濟參謀本部ト稱セラルベキモノデアル。此ノ改組
ハ銀團主席蒋介石ノ金融獨裁制ヲ確立シ中央集権化ヲ實現シタ。

六

〔新〕 新政轄下ノ和平建設地區ニアツテハ在來ノ金融系統ト新ナル金融
系統トノ統合調整ガ問題トナツテキル。

(同) 蒙疆地域ガハ此ノ問題ガ最モ早ク取上ゲラレ一九三七年蒙疆銀
行ノ設立ト共ニ乙ニ統一サレタ。

(同) 北支那デハ一九三八年三月十日設立ノ中國聯合準備銀行ガ同地
域ニ於ケル金融工作ノ基調トナリ在來ノ敵性諸銀行ヲ一掃シテ
凡ユル金融機關ヲシテ聯銀ニ協力セシムルニ至ランメタ。

自中支那ノ金融工作ハ前二者ニ比シ立遅レテキル。即チ金融機關ノ一元的統制ヲ標榜シテキルモノノ在來ノ金融機關ヘ之ヲ統制スルコトナク寧ロ舊法幣ヲ利用シテ漸次儲備券ノ地位ヲ向上セシメテ來タ。

支那農村ノ貨幣經濟化

委員 小島昌太郎

一、農村貨幣經濟化ノ基礎

(一) 一般支那農民ハ自給自足ヲ以テ理想的生活トシテ居ルガ、租稅地代ノ金納化及外國工業製品ノ侵入ニ伴フ農家手工業ノ崩壊ガ商品經濟化ヲ促シ貨幣經濟化ヲ進メタ。

(二) 農村貨幣經濟化ノ根本的ナ原因ハ農地過少ニ因ル貧農ノ自活不能ニ在ル。從ツテ余剩勞力ヲ賣却シテ貨銀ヲ獲得スルト共ニ、自家用粗放作物ノ代りニ集約的高級作物即チ商品作物ノ栽培ニ向ハザルヲ得ナイ。

二、農村貨幣經濟化ノ程度

(一) 農村貨幣經濟化ノ程度ハバツクノ調査ニ依レバ凡ソ生活ノ半ニ達シテ居ル。

農業生産物中販賣セムモノノ比率	北支西省
收入總額中ニ占ムル現金收入ノ比率	四五・五%
生活費中ニ占ムル現金生活費ノ比率	二六・七
	四三・五%
	六六・八%
	五一・六%
	三四・一

（二）農村ノ貨幣經濟化ハ富農ニ少ク貧農ニ多イ。

三、

（一）農村貨幣經濟化ノ變動

（二）支那農村ハ自給自足經濟ノ上ニ流通經濟ヲ立テ居ルカラ戰亂等ノ時期ニハ自給自足ノ經濟ニ復歸スル傾向ガアル。

（三）物價漸騰ニ際シテハ農村ノ貨幣經濟化ハ進展スルガ物價ノ暴騰スル場合ニハ貨幣經濟カラ自然經濟ニ逆行スル。從ツテ商品作物ノ收買可能量ハ物價漸騰ノ際ハ増大スルガ物價暴騰ノ場合全ハ僅少又ハ皆無トナル。

支那土着工業ノ生産力ニ就イテ

委員 山田 雄三

一、支那ニ於ケル工業化ハ從來極メテ遲々タルモノニアツタ。

(1) 支那アハ外國資本ニ依ル近代的工業ト所謂土着工業トガ混在シ
併存スルガ。前者ハ數量的ニ後者ノ比デハナク地域的ニモ少數

ノ大都市ニ限ラレキキル。支那工業全体トシテ見バ紡織工業
及食糧品工業等ノ輕工業ガ壓倒的デ其ノ大部分ハ國內消費向デ
アル。

(2) 斯ニ支那ノ工業化ヲ規定スル外的條件ハ從來ノ世界經濟的關係
ヲアリガ、內的條件トシテハ支那人自身ノ特殊ナ投資勵等ガ譽
ゲラレル。

二、支那土着工業ノ生産能率ハ確カニ低イ。

(1) 之ハ勞動能率ノ低位ニモ依ルガ其ノ他ニ機々ノ原因ガアリ一般
的ニハ資本的生産ノ不十分ナコトデアル。

(2) 支那工業ニ於ケル資本ノ壽命及運用狀況ヲ見ルニ
固定資本ガ大デアツテ流動資本ハ不十分デアル。

- (回) 個々有利ナ價格狀態カラ高率ノ收益ヲ得テモ之ヲ屢ニ資本化スル方法ガ拙劣デアリ社内蓄積ハ極端ニ尠却セレキル。
- (回) 機械設備ガ古クナツテモ敢テ改修ヲ行ハズ唯低賃銀ニノミ依存シテ之カラ收益ヲ握リ取ラウトスル。
- 三、支那土着工業ニ於ケル投資ノ性格
- (ト) 右ノ如キ專態ヲ惹起セル内的條件タル支那人ノ特異ナ投資觀ヲ見ルニ
- (イ) 支那デハ產業投資ガ常ニ商業利潤ノ追求ト結ビ付キ銀行ノ貸付モ投資ヨリ投機ヲ好ム。
- (ロ) 投資ハ又屢々單ニ生活保證ノ手段トシテ土地購買ニ向ケラレル。
- (ハ) 斯ルニノ投資方向ハ一見極端ニ對立スルモノノ如クデアルガ實ハ共通ノ地盤即チ經濟生活ノ不安定カラ發生シテキル。
- (シ) 支那經濟ハ生産ト遊離シテ投機的ナ特色ヲ帶ビ同時ニ生活自衛ノ自然經濟ヲ鞏固ニシ、全体トシテ短期的調制的色彩ガ濃厚デアル。
- 四、土着工業ト日本ノ對支開發

支那土着工業ヲ振興スルニハ
口根本的ニハ工業投資ヲ有利ナラシムベキデアルガ之ハ要スルニ
口經濟生活ヲ安定スル政治力ノ問題ニ附着スル。
口土着工業育成ノ爲ノ保護統制モ單ナル強制デハナク利ヲ以テ誘
コ必要ガアル。
口結局ハ國策的投資ニ依ラネバナラヌトスルモ要ハ支那經濟ノ性
格ニ適應シタ方法ヲ選ブベキデアル。

支那特ニ北支ニ於ケル食糧及衣料ノ流通過程

委員 村松 祐次

一、北支ニ於ケル從來ノ取引機構

(一) 北支市場ハ(一)中央市場(二)地方中繼市場及(三)集市鎮市場ニ分レ相互間ニヘ鐵道、水路、道路ニ依ル流通ガアリ北支全體ガ不完全乍ラモ一ツノ市場テ形成シテ居タ。

(二) 集市鎮市場ニハ農民、販子(仲買人)、一般消費者ガ賣手又ハ買手トシテ表ハレ定期的集市ガ開カレル。糧穀ノ賣手ハ近在農民デアリ置手ハ商人、旅店、飯^々房、豆腐房、麺坊等テアル。

(三) 地方中繼市場テハ旅館、問屋、金融機關ノ業務ヲ兼ネ糧穀ガアツテ活動ノ中心トナリ他ニ賣手及買手トシテノ客商ガ加ハル。之ハ京滻ヘノ出荷市場トシテ又ハ最終消費市場トシテノ作用ヲ營ム。

(四) 中央市場ハ北京、天津、濟南ノ市場ヲ謂ヒ全華北ノ需給ノ結合テアリ指導價格ヲ形成シテ糧穀ノ活動ガ中心トナツテ居ル。

- (4) 此ノ内ニヘ北支ヘノ輸移入市場ヲ形成シテ居タモノモアル。
 (5) 以上ノ糧穀ヲ中心トスル各市場ノ結合連絡ハ仲介人ヤ糧穀ノ店
 屋ニ依ツテ行ハレテ居タ爲非常ニ不安定デアツタ。
- (二) 北支ニ於ケル事變後ノ食穀取引機構ノ變化
- (一) 輸移入品取引機構ノ變化
- (1) 事變後中支及中支經由第三國ヨリノ米、小麥粉輸入ガ激減シ食
 糜統制ガ強化サレタ結果
- (2) 輸移入業者ノ機能ハ國產品ヲ主トシテ取扱フ様ニナリ事實上
 糜穀ト化シ、
- (3) 取扱商品モ從來ノ米、小麥粉中心カラ統制ノ縁イ雜穀へ轉向
 シタ。
- (4) 斯クテ輸移入市場ハ衰退シ天津内部市場ガ重要性ヲ増大シタ。
 (5) 小麥ノ統制收買販出制限ノ影響
 昭和十四年公定價格制ガ實施サレタガ効果ナク其ノ後漸ニ原麥
 ノ統制收買ガ行ハレタ。
- (6) 奧地市場ニ對スル影響 奥地ノ糧穀バ正式ニヘ指定收置人ト

(三) 食糧採運社組織及最高販賣價格制ノ影響
昭和十八年糧機及之ニ類似ノモノヲ以テ食糧採運社ナル統制的收買機關ヲ組織シ都市ノ切符配給制及北支一帶ニ食穀全般ニ亘ル最高價格販賣制ヲ施行シタ。其ノ結果糧機ノ機能ハ停止シ販子ニ依ル密移入ガ激化シタ。

(四) 此ノ爲新ニ省長、縣長、鄉鎮長等ニ依ル行政收買ヲ實施シタガ効果ナク都市ノ給養ハ零細ナ密移入ニ依存スルニ至ツタ。斯くて天津市場ハ淋レ周邊ノ小都市村落ノ集市ガ繁榮シ磨坊、料連店、仲介人等ガ暗喩シテ居ル。

三、衣料ノ取引機構

(一) 棉花ニ付テモ大体食穀ト同様ナ狀態アリ花販子、花錢ガ其ノ取扱機関トシテ活動シテ居ル。

- (二) 総制收買ハ小麥ヨリ早ク實施サレタガ其ノ成績ハ不良デアリ北
京、天津市内デハ國經路ニ依ル土糸、土布ノ小口賣買ガ行ハレ
テ居ル。
- (三) 中支ノ狀態モ峰々北支ニ近キト恩ヘレル。

第二部 活論

支那經濟ノ特質

委員 橋本 秀一

一、支那經濟ノ一般的ナ特質ハ原始産業ノ優位、蓄積資本ノ貧困、生産力ノ低微、流通經濟ノ未發達、地方經營的經濟等多クノ封建的要素ガ存シ、阿片戰爭以後より來ツタ外來的ナ要素ガ之ニ混在シテ二重經濟チ形成シテ居ルコトニ在ル。

二、支那經濟ノ特質チ各經濟部門ニ就テ觀レバ次ノ如クデアル。
 (一) 農業 自作農中心ノ小農翻母採リ技術ハ保守的傳統的デ專ラ人
 力ニ依存スル。生產力低ク農民ノ收入僅少ナルニ加ヘ販賣等ノ
 不利ヤ租稅地代ノ高季ナル爲農民ヘ窮乏ノ生活ヲ送ツテ居ル。

(二) 工業 今尙手工業ガ代表的デ主トシテ地緣的ナゼルド組織トナ
 ツテ居ル。工場モ相當發達シテ來タガ外國資本ニ依ルモノ優勢
 デ支那系資本ニ依ルモノハ消費財部門ニ多イ。

(三) 流通經濟 近代的交通機關ガ未發達十萬物資ハ一地方都市チ中

心トスル小範圍ナ流通スルニ過ギズ流通機構モ合理化サレテ居
ナイ。

通貨ハ未だ亂雜不合理ノ幣制ノ全國的統一ハ完全デナイ。近代
的ナ金融機關ハ發達セズ舊來ノ錢莊ガ代表的デアル。
(二)對外經濟、外國貿易ハ原料輸出ト製品輸入ヲ特色トスルガ流通
經濟未發達ノ爲外國貿易ニ依存スルコト歟イ。

支那ノ物價騰貴ト其ノ對策

委員 谷口 吉彦

支那ノ物價騰貴ハ惡性インフレノ兆候示シテ居ルガ支那ノ特殊
性ヨリ未だ重大ナル政治的社會的ナ問題ヲ惹起シテ居ナイ様デア
ル。併シ我現地軍ノ目活及戰力物資ノ獲得等ノ見地カラ之ガ對策
ヲ必娶トスル。
二、差當リ不急不要融資ノ抑制、儲備銀行及一般金融機關ノ整備、投
機囤積ノ取締、物資集配機構ノ改善其ノ他ノ措置ヲ採ルベシデア

物價騰貴ノ支那政治經濟ニ及ボセル影響

委員 橋本 秀一

一、農業生産ニ對スル影響 支那農民ハ主トシテ自給自足ノ經濟ヲ營
ンデ居ルカラ農業生産ニ對スルインフレ進展ノ影響ハ比較的尠セ
寧口生産物ノ價格騰貴ニ因テ增産ガ刺戟サレルトサヘ考ヘラレル
但シ之ヲ制約スル條件モアル。

二、工業生産ニ對スル影響 物價騰貴ハ資本ヤ設備ノ流通部門ヘノ流
轉用ノ原料資材ノ偏在、勞働ノ能率低下等工業生産力低下ノ原因
トナル。併シ農村家内工業ヤ地方的難工業ニ影響スルトコロハ専
イ。

三、流通經濟ニ對スル影響 物價騰貴ニ因テ流通部門ハ膨脹シ、工場
ノ原料轉賣ガ行ハレルニ至ル他、消費者ノ囤積才、轉賣モ盛ントナ
ル。併シ有力ナ商業資本ヤ金融資本ガ大規模ナ囤積投機ヲ行ヒ經
濟ヲ擾亂スル爲民衆ハ困惑ニ陥テ居ル。

四、民生ニ及ボス影響 固定收入階級少ク民衆ノ資産モ不動產、動產
ガ多イカラ物價騰貴ノ民生ニ對スル影響ハ比較的深烈デハナシ。

支那人ノ貨幣觀

委員 小島昌太郎

一、支那人ノ貨幣觀モ其ノ根幹ニ於テハ他民族ノ夫ト異ルモノデヘナ
イガ、其ノ特異ナ生活環境ハ支那人ヲシテ貨幣ニ對シ價値ノ變落
ニ付キ銳敏聰明ナル感覺ヲ有スルニ至ラシメタ。

二、即チ素材價値アル金屬貨幣ト然テザル紙幣トヲ明確ニ區別シ、前
者ハ之ヲ交換手段タルト同時ニ財產トシテ尊重スルガ、後者ハ之
ヲ單ナル交換手段トシテ速ニ財貨ト交換セントスル。

支那貨幣ノ性格ト銀行券兌行ノ問題

委員 山口 茂

一、支那貨幣ノ性格ニ即應シ圓系通貨ガ圓滑ニ流通スルニハ自備的民
衆社會ニ安心シテ受ケ谷レラレル必要ガアリ、圓系通貨ナ民幣的
ナルモノタラシムル爲通貨ノ形式的統一ニ走ラズ、又從來ノ低物
價ニ依ル法規的統制ニ依ルヨリモ支那ノ商賣道ニ即シタ獨占的經
濟統制ニ依ル方ガ其ノ可能性大デアル。

二、國系通貨ノ流通領域ヲ擴大シ流通經濟的貨幣タラシムル爲ニハ決

幣經濟領域（直接ニハ其ノ域内ノ物資ヲ利用スペタ）適當ナ條件ノ下ニ圓系通貨ト法幣トノ交換ヲ考慮スベヤデアル。從來ノ法幣政策ハ國產デモアリ又我ニ不利デアル。

支那ニ於ケル紙幣發行制度

委員 德水 清行

一 支那ハ政府紙幣ハ可成リ古クヨリ見ラレタガ銀行券ノ出現ハ一八九七年ノ中國通商銀行創立以後ノコトデアル。

二 元來多數發行制ヲ採リシ支那ハ平ト共ニ幣制ノ紊亂甚シタ之が駐拾整理ノ爲中央銀行設立ノ必要ガ痛感セラレタ。

三 發券ノ集中ハ政府ノ幾多ノ助長策ヤ頒用制ノ普及ニ依リ促進サレ又預金準備ノ集中モ一九四〇年其ノ緒ニ着イタ。

四 重慶政權デハ一九三九年新四聯總處ノ組織完了ニ依リ金融ノ中央集権化ヲ見タ。

五 之ニ對シ新政權下デハ襄垣及北支那デハ蔣介金融新秩序ノ確立ヲ見シモ序支那ノハ遲々タルモノガアル。

支那農村ノ貨幣經濟化

委員 小島昌太郎

一、支那農村ノ貨幣經濟化ハ租稅地代ノ金効化。外國工業品ノ侵入、農地過小ニ因ル貧農ノ自給不能等ニ尋因シ其ノ程度ハ農村生活ノ半ニ達シテ居ル。

二、支那農村經濟ハ自給自足ヲ基調トスルカラ戰亂等ノ時期又ハ物價暴騰ノ場合ニハ貨幣經濟カラ自然經濟ニ復歸シ廢產物ノ出現ハ減少スル。

支那土着工業ノ生產力ニ就テ

委員 山口 雄三

一、外國資本ニ依ル工業ニ比シ支那土着工業ノ生產力ガ一般ニ著シク劣レルコトノ主タル理由ハ其ノ資本構成ガ短期的ニシテ其ノ運營ガ設備的ナル點ニ在リ。

二、之ヲ振興スルニハ支那經濟ノ性格ニ適應シタ方法ニ依リ工業投資ヲ有利ナラシムルノ要アリ。

支那時ニ北支ニ於ケル食糧及衣料ノ流通過程

委員 村松 諦次

- 一、從來ノ北支市場ハ大中小各種ノ市場ヨリ成ル一ノノ不完全ナ自由市場デアリ食穀ノ流通ハ糧棧、仲買人等ニ依ツテ行ハレテ來タ。
- 二、事變後部分的ニ行ハレタ最初ノ食穀統制ノ下デハ糧棧ガ繁榮シ、次デ行ハレタ全面的統制ノ下デハ糧棧ノ代リニ統制ノ及ビ離イ多數ノ仲賣人ガ食穀ノ賣買ヲ爲スコ至ツタ。
- 三、斯クチ統制ノ強化ニモ拘ラズ密輸入が激化シ大都市ノ食穀ハ之ニ枝存セザルニ得ナクナツタ。
- 四、棉花ニ付テモ大体食穀ト同様デアリ、中支ノ狀態セ論々北支ニ近イト思ハレル。

(昭二〇、支一七) 外資局

共榮園及歐米財政金融調查協議會議事程

- 一、開會ノ辭
- 二、幹事長挨拶
- 三、經過報告
- 四、晝食及休憩
- 五、附議事項審議
- 六、委員懇談
- 七、最近ノ歐米財政經濟事情（湯本財務官）
- 八、閉會ノ辭

明治市新丸子南町三丁目一一〇〇號
株式会社アラド

(昭二〇年一月)

共榮圈及歐米財政金融調查團會附議事項

九月末迄
報各項事項
最近ニ於ケル世界政治經濟情勢ノ變貌ニ顧ミ今次ノ調査研究ハ此ノ間ニ處スペキ我ガ財政經濟政策特ニ今後ニ於ケル對外財政金融施策ノ規範要綱ヲ策定スルヲ目的トシ之ガ爲概末左ノ事項ニ付檢討審議スルモノトス

十六一般的事項

- (1) 戰爭ニ因ル世界金融乃至經濟ノ變貌
- (2) 戰後世界經濟ノ復興及產業再配置

二、財政經濟ニ關スル事項

- (1) 主要國ノ戰時公債、國民貯蓄及租稅政策
- (2) 戰後公債處理ニ關スル諸論說ト主要國ノ態度
- (3) 主要國ノ戰後租稅政策
- (4) 主要國戰時經濟金融方針ノ勘定

(3) 終四集

三

国際經濟及金融ニ關スル事項

- (一) 共榮團物資及資金ノ交流機構
- (二) 支那市場ノ世界經濟的地位ノ變遷
- (三) 主要地域特ニ支那ニ於ケルインフレーションノ特異性ト其ノ基本對策
- (四) 戰後國際投資及交易ニ關スル主要國ノ主潮ト其ノ具現化
- (五) 戰債及賠償ノ處理方策

附 調査項目説明

(八月二〇七一七
外務省)

第一、總 説

附第1回化批判
内緒の右を飾る

一、最近ノ世界情勢ニ顧ミ今次ノ調査研究ハ單ナル財政經濟事情ノ
闡明ニ止マルコトテク今後ノ世界財政金融ノ趨勢乃至調査ノ明
ラカニスルト共ニ之ニ對處スペキ戦力方針態度等ヲ考究シ今後
ニ於ケル我ガ對外財政金融施策ノ規範要綱策定ヲ目的トスルコト

二、調査研究ニ當リテハ左ノ諸點ニ留着スルコト

(一) 内外ノ諸論說ヲ検討シ單ナル事實ノ調査ニ止ルコトナク進シ
デ理論的究明乃至價值批判ニ及ブコト

(二) 常ニ我國トノ差異、我國ノ立場ニ着目シ我國ノ採ルベキ態度
乃至方針ヲ論究スルコト

(三) 問題ガ戰局ノ趨勢ニ關聯マルモノハ各自ノ最モ可能性多シト
認ムル想定ニ依ルコト

(四) 問題ヲ取扱ハ平面的教科書的記述ヲ避ケ立体的且明瞭詳細ニ
論述スルト共ニ規範要綱策定ノ可能ナルモノニ在リテハ之ガ
立案案主及ブベキコト
(五) 調査研究ハ廣く記述ニ據ルベキモ前記目的ニ即應スル限
リ必ズシモ之ニ限定スル要ナキコト

第二

一、各項說明
二、一般的項目

(一) 戰爭ニ因ル世界金融乃至經濟ノ變貌
今次大戰ノ進展ニ伴ヒ世界ノ金融乃至經濟ハ相當著シキ變貌
ヲ遂ゲタルガ特ニ米英ソラ中心トシ歐洲及東亞ニ於ケル金融
經濟各部面ノ變化ト趨勢トヲ綜合的ニ展望論述スルト共ニ之
ニ對慮スベキ我ガ基本方針ニ論及スルコト

(二) 戰後世界經濟ノ復興及產業再配置
歐洲戰終結ニ前後シテ歐洲經濟ノ再建が論議セラレ且既ニ其
ノ一部ヘ具體化セラレツツアル方今後歐洲及亞細亞其ノ他ニ
於ケル經濟ノ復興及產業ノ再配備等ノ問題ニ付米英ソハ夫々
自己本位ノ政策乃至計畫ノ樹立實施ニ没頭シ居ルモノト認メ
ラルル處此等議案ハ理論的ニ成立スルモノナリヤ又其ノ包藏
スル政策的子雲ハ奈邊ニ在リヤテ比較檢討ノ上之ヲ我ガ立場
ヨリ批判シ我が基本政策ノ策定ニ及ブコト

二、財政經濟ニ關スル論述

(一) 主要國ノ戰時公債、相民貯蓄及粗稅政策

本英獨ソ等ノ戰時財政ニ於ケル、相民貯金動員ノ問題
ヲ、經濟社會政策等トノ關係ニ於テ、取上げテ、各國政治經濟ノ特
質ニ應シ具體的ニ、宏明スルト共ニ我國トノ異同ヲ闡明シ我國ノ
採ルベキ政策ニ論及スルコト

(二) 戰後公債處理ニ關スル諸論說ト、主要國ノ態度

米英ソ佛等ノ主要交戰國ニ於ケル、戰時公債ノ戰後處理ニ關スル
議論說ト此等主要國ノ採ラントスル公債處理方針ヲ比較論評シ
我方施策ニ關說スルコト

(三) 主要國ノ戰後租稅政策

戰時經濟ヨリ平時經濟ヘノ關係ニ伴上、戰後租稅ハ輕減サレルカ、
租稅負擔ノ公正ヲ如何ニシテ、トルカ又ハ各種經濟統制及社會改
革目的ト如何ニシテ、調和セシムベキ力等、戰後租稅政策ノ諸問題
ヲ、米英ソ佛等ニ付檢討シ之ガ理論的基礎ヲ究明スルト共ニ我方
施策ニ論及スルコト

四 主要國戰時經濟金融統制ノ歸趣

米英獨ソ等ノ戰時統制方式ノ特異性ト其ノ因由ヲ解明シ我國ト
人差異ヲ考究スルト共ニ戰後右統制ハ如何ナル万向ニ進ムカ又
分進ムベキ力ヲ究明我方向フトコロニ論及スルコト

三、國際經濟及金融ニ關する事項

(一) 共榮圏物資及資金ノ交流機構

本問題ハ既ニ大東亜審議會ニ於テ其ノ基本方策ノ決定ヲ見タル處其ノ後ノ事情ニ相當ノ變化アリセシテ以テ此ノ際之方針検討ヲ爲シ我國ヲ中心トスル共榮圏各域間及圏外トノ物資及資金交流ノ具體的機構ヲ論究立案スルト共ニ米英ソ等ノ構想スル國際交易乃至決済機構トノ關係ニモ論及スルコト（國際通貨基金及復興開發銀行ノ問題ハ一應研究済ナリ）

(二) 支那市場ノ世界經濟的地位ノ變遷

戰後商品乃至投資市場トシテノ支那ハ如何ニ成リ行ク力其ノ世界經濟的地位ノ變遷ヲ明ラカニスルト共ニ今後ノ前途ヲ展望シ世界注視ノ的タル支那市場ニ對スル我ガ基本方策ノ理論的基礎ヲ究明シ其ノ策定ニ及ブコト

(三) 主要地域特ニ支那ニ於ケルインフレーションノ特異性ト其ノ基本對策

歐洲各國及其ノ占領地域ニ於ケルインフレーションノ特異性ト其ノ基本對策

之ガ對策ヲ檢討スルト共ニ文部インフレーショント比較勘案シ
之ニ對處スベキ我ガ基本對策ニ論及スルコト

(四)

戰後國際投資及交易ニ關スル主要項ノ主觀ト其ノ具現化
戰後米英ソハ其ノ經濟ヲ維持増強センガ爲或ハ戰時經濟ヨリ平
時經濟ヘノ轉換ニ伴フ國內經濟ノ危機ヲ回避セントシテ海外ニ
市場ナ求メ投資乃至交易ニ努力チ傾注スペシト認メラル處之
ニ觸入ル各國ノ諸論調チ思想的ニ檢討スルト共ニ具體的ニハ如
何ナル意向ニ之ガ實現セマレツツアルカチ論述批判シ找ガ基本
万針ニ及ブコト

(五)

等

戰債及賠償ノ處理方策
戰時中ノ國際的債權債務及賠償要求ヲ戰後經濟復興ト如何ニ調
整處理スベキ力ニ觸入ル主要國ノ論調ヲ比較検討シ綜合的批判
ヲ加フルコト

(備考) 調查研究報告ハ「外貿局特別情報」ノ形式ニ則リ簡潔ナ
ル箇條書トナシ要スレバ別ニ適當ナル説明書ヲ附スルコ
ト

大日本帝政政府

湯本財務局

(國定規格印一八三メニ五七耗)

改訂圖

(1) 金額的

十七

(2) 附註的

ナニカスルニテハシテ

(3) 印字的

而即行能

一九三九年

四年

四年

支入四七七

二三五(既挽回)

二七年

二七年

支入

二一三(借入金不借)

九年

九年

支入

四七七

七年

七年

支入

一九〇

九年

九年

支入

三四七

九年

九年

支入

二六〇

九年

九年

支入

七七二(五九%)

九年

九年

支入

一三二

九年

九年

大日本帝政政府

477
229
248

(2)

1

内閣文庫

大典(内宮)

九四二

年賃費 二四一 二〇〇 三五〇

軍事費 二二九 七八七 九〇〇

四七七 九一七

税役 博税 徵役等易化

公債 一九三九八萬

一九四四年本

三四六

体

中

一

千

百

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

〇

七

六

五

四

三

二

一

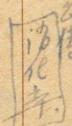
〇

(國定規格印一八ニメ三五七耗)

支那事

支那事

支那事



内閣文庫

一九四二年

保険地主用

一

一

一

一

一

一

支那事

支那事

支那事

支那事

支那事

支那事

支那事

Jacobson (Sweden)

(3)

大日本帝政政府

占領地の事の手

四四八〇万馬克

一九三九—一九三九

一〇五〇億

一九四四年下半期

内需フランク

一九四四年下半期

四一

一九三九—一九三九

一九四四年九月本店

三一五萬

貨物

六

五

七

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

甲子年傳

(國定規格函一八二×二五七耗)

(4)

大日本帝國政府

日本銀行

國定規格紙一八二×二五七純)

一九四〇 九〇〇元

一九四一 一二〇〇元

官庫債券

一〇一三〇

一〇〇〇

七五〇

一七〇

一九四四 一五五〇

工ト四トノ不足

七〇

一七〇

一七〇

通貨

一九三九八月 四〇

四〇

四〇

四〇

四〇

一九四〇一月

一九四〇年

一九四〇年

一九四〇年

一九四〇九月 二〇

二〇

二〇

二〇

二〇

一九四〇年

一九四〇年

一九四〇年

一九四〇年

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一九四〇年九月 一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

5

大日本帝國政府

卷之三

(3) 休眠せよ
1

(4) 計算一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

卷之三

卷之三

卷之二

卷之三

將來
物語

卷之二

三
七

四
四

日本國事變之時來日猶安坐とあしらひ猶御手とづけ
金子重松の日本國事變

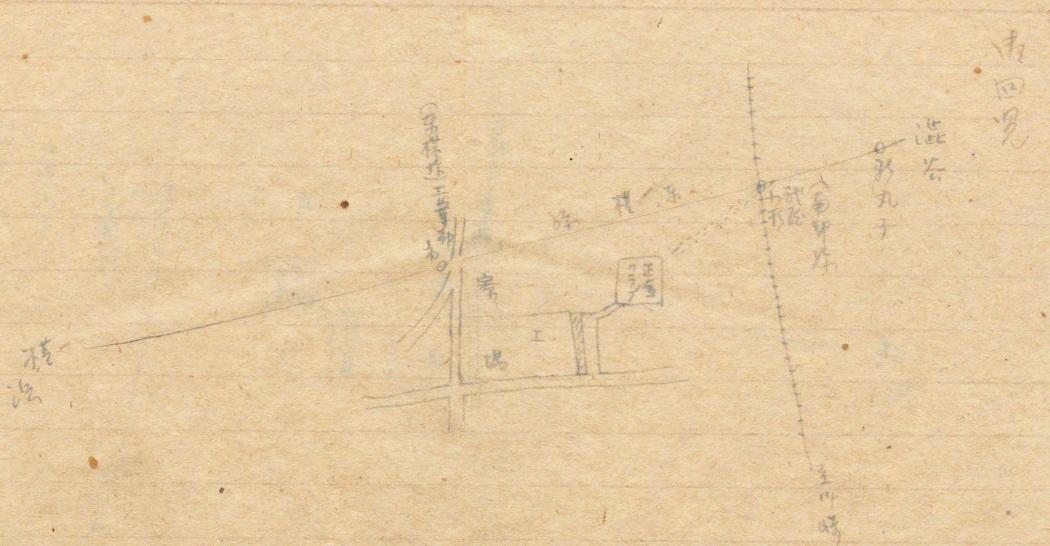
三十六
博

卷之二

四
下

上語書

本
國
社
會
事
務
處



東京都世田谷区多摩川瀬田町
三八六番地
荒木光太郎殿



10

JAPAN

20

30

40

政米賊政金融調査協議會
幹事長 久保文藏